

平成24年三条市議会第3回定例会請願文書表

受理番号	第 28 号	受 理 年 月 日	平成24年6月15日
件 名	年金額の特例水準解消の名による 2.5%削減に反対する請願		
紹介議員	小 林 誠 君		
請 願 文			
<p>【請 願 理 由】</p> <p>高齢化が進む中で、お年寄りの年金はどんどん引き下げられ、安心して老後を送ることができなくなっています。無年金者や低年金者はますます増えており、自殺者・孤立死・生活保護受給者も増え続けています。これらの人々に憲法で保障された健康で文化的な最低生活を保障することは、緊急の課題となっています。</p> <p>年金額は、全国消費者物価指数にスライドすることとなっておりますが、食料品を始め生活必需品の価格が下落しているという実感は全くありません。</p> <p>既に、2000年から2002年に行われた特例法による据置き後、この6月支払分の0.3%削減までに、合わせて2.2%の削減が行われました。他方、この間の税制改悪により、所得税・住民税・国保税・介護保険料は増税となりました。特例法の1.7%を含めた物価スライド特例水準は、本来水準と2.5%の差があり、政府はこの差を3年間で解消するとして、物価スライドとは別に今年の12月支払分から更に0.9%を削減し、来年度以降2年で0.8%ずつ削減しようとしています。これは、年金生活者を一層困窮させるものであり、断じて容認できるものではありません。</p> <p>以上の趣旨から、次の事項について関係機関に意見書を提出して下さるよう請願いたします。</p> <p>【請 願 事 項】</p> <p>1 特例水準解消の名による公的年金の2.5%削減は行わないこと。</p>			

付託委員会

市民福祉常任委員会